

(前頁より)

熱の入った発表も多く、時間制限のため十分な議論ができない有様でしたが、明日へ繋がる医療の構築をめざすに、有意義であったと思います。



会場風景 (クリティカルパス展示)

教育セミナーの医療安全「医療コンフリクトマネジメント」については事前登録としましたが、遅刻や中断する受講者はなく、82名の受講者に終了後、受講修了証書を交付することができました。準備に大変であった講師の先生方に厚く感謝申し上げます。またクリティカルパス展示は35題を4ブースに分け、各座長により各ブース優秀賞表彰を行いました。各ブースとも発表後の表彰のため、参加者も多くおおいに盛り上がりしました。

特別講演には地元大分県佐伯市出身で、前グーグル日本法人名誉会長・村上憲郎事務所代表取締役の村上憲郎先生に「スマートグリッドが切り拓く新生スマートニッポン」と題してご講演をいただきました。「賢い送電網」を意味するスマートグリッドが2020年までには普及し、“電線にインターネットは寄り添う”となり、“電力網と情報網に束ねられたもの”となるべく、すべてがスマートグリッドに接続される時代となり、従来のインターネットの“人と人”に加え、“人と物”“物と物”というコミュニケーション時代がくる、という内容に、アナログ人間としては、驚くばかりでした。

学会場自体が広く、また会場が分散していたため分りにくかったことなど、ご迷惑もおかけしたと思いますが、無事学会を終えることができましたのも、ご参加頂きました皆様と、大会運営にご支援・ご協力いただきました皆様のおかげです。心より感謝を申し上げ、第10回九州・山口連合大会の開催報告とさせていただきます。



会場風景 (第2会場)

分科会等開催案内

2011年度第1回クリティカルパス実践セミナー in大阪

テーマ：～電子化を前提としたクリティカルパスの作成とバリエーション分析～

電子カルテの導入によりクリティカルパスの使用が困難になったり、作成が進まない事態が少なからず生じています。今回は、電子化クリティカルパス作成のためのエクセル作成ソフトを用いたクリティカルパスの作成とバリエーション分析を通してクリティカルパスの基本と電子化のポイントを習得するためのセミナーを企画しました。奮ってご参加下さい。

実務研修の為に定員が限られていますので、お早めにお申込み下さいますようお願いいたします。

- ・日時 2012年2月4日(土)12:30～2月5日(日)14:30
- ・場所 松下記念病院 2階 講義室
(〒570-8540大阪府守口市外島町5番55号)

・プログラム

第1日目 2月4日(土)

12:30 受付開始

13:00 開会

日本医療マネジメント学会理事長 宮崎久義

13:10 講演

「今、クリティカルパスに求められているもの」

国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科教授
武藤正樹

13:30 講演

「クリティカルパスの基本(電子化も含めて)」

国立病院機構熊本医療センター統括診療部長
野村一俊

13:50 グループワークI:

電子化クリティカルパス作成のためのエクセル作成ソフトの説明、作成ソフトを用いたクリティカルパスの作成

国立病院機構熊本医療センター研修部長
清川哲志

16:00 グループワーク発表・討議

17:30 講演

「電子カルテ上で運用する外来化学療法パスの現状と問題点」

松下記念病院副院長・消化器内科部長 小山田 裕一

17:50 第1日目日程 終了(予定)